



# 秋田(道)との つながり

〔秋田市観光クチコミ大使〕  
東日本高速道路株式会社 管理事業本部  
ITS推進部 ITS推進課 課長

いち かわ のぶ ゆき  
市 川 暢 之 氏

秋田県に最初の高速道路（S58:東北道 安代IC～鹿角八幡平IC）が開通してから約40年、秋田道最初の開通（H3:横手IC～秋田南IC）から約30年が経過しました。

この高速道路の建設事業が秋田と弊社とのつながりの最初であり、その間、秋田市内の事業所につきましても、秋田道等を建設する秋田工事事務所から秋田道等を管理する秋田管理事務所に変わりました。現在では県内約210kmの高速道路の管理と秋田道の4車線化の工事等を県内3つの事務所で行ってまいります。

私は2018年7月から2020年9月までの2年3か月、秋田にお世話になりました。

弊社は元々、約半世紀高速道路の建設・管理を行っていた日本道路公団が2005年10月に分割・民営化された東・中・西の3つの高速道路会社のひとつであり、現在発足17年目となります。

千葉県出身の私は分割に際し東を選択しましたが、東北地方の勤務はありませんでした。それまでは、関東・東海地方の勤務が殆どであり、恥ずかしながら秋田の知識は殆どなく不安を抱えての着任であったことを覚えております。

秋田での担当は、秋田市を中心とする秋田道などの高速道路の管理が中心です。

秋田道は往復1車線ずつの2車線区間が多く、工事をする場合には夜間通行止めが必要となり、皆さまにはご迷惑をおかけいたしました。しかしながら、私の在任中に車線間に車両逸脱防止のためのワイヤロープの設置や舗装路面の打ち替えを集中的にさせていただきましたので、多少は安全に走りやすくなったと感じていただけたかと思います。

また、地域の皆さまとの交流を目的に、竿燈まつり等への地域行事の参加、高速道路を活用したイベント等も実施させていただきました。弊社が民営化し、一番変わったことは、高速道路を活用した地域連携というものが、会社の大きな柱となっ

たことです。

現在、私は管理事業本部ITS推進部ITS推進課という私の異動時に新設された部署に在籍しております。この部署は、様々な技術革新に伴い、急速に普及が見込まれる自動運転車両や物流サービスなどの社会情勢の変化に対応し、自動車交通の更なる発展をけん引していくための新たなモビリティサービスを検討していく部署です。本年4月には、「自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿（構想）」（<https://www.e-nexco.co.jp/activity/safety/future/>）を公表させていただきました。この構想では、高速道路を通じた地域社会の発展等を目指す施策もあり、自動車交通が主体の秋田にも微力ながら貢献していきたいと考えております。

また、7月より秋田道の4車線化工事を推進する担当組織として横手工事事務所を設置します。同時に、管理体制の再編のため秋田管理事務所と横手管理事務所の組織統合も実施します。引き続き秋田に必要な会社と言われるべく努力してまいります。

秋田での約2年間の体験は、秋田離任が名残惜しくなるのに十分でした。

私としましては、「秋田市観光クチコミ大使」として、今後とも微力ながら秋田の魅力を発信していきたいと思っております。

今後の秋田の発展を祈念しております。

## ■略歴

1972年 千葉県生まれ  
1995年 日本道路公団入社  
2005年 東日本高速道路株式会社入社  
2018年～2020年 同社 東北支社  
秋田管理事務所長  
2020年10月～ 現職